

日交研シリーズ A-586

平成 24 年度共同研究プロジェクト

「道路交通事故統合データベース構築の可能性調査」

刊行：2013 年 12 月

道路交通事故統合データベース構築の可能性調査
Developing a Fusing Database of Traffic Accident Related Statistics

主査：鹿島 茂（中央大学教授）

Shigeru KASHIMA

要 旨

本研究は、事故件数およびそれに伴い発生する費用を人身事故だけでなく、物的損失のみが発生する事故までを含めて交通事故による被害の全体像を把握することを目的とした研究である。

第一に、物損事故件数を把握することを目的に保険業界の統計でも捕らえられない保険を用いない事故の推計事例をレビューした。レビューした推計事例では、保険の支払いを伴わない事故費用が 823 億円（修理台数で 137 万台）と推計している。

また、昨年度プロジェクトで実施した対物および車両保険の支払い実績データから事故件数を推計するモデルの考え方の整理およびモデルの改良を行った。

第 4 章では、今後の事故費用のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的として日本交通政策研究会および内閣府により定期的に行われている交通事故による総費用推計のレビューを行った。ここでは、対象とする費目や費用として含める範囲に関する考え方を中心に整理をし、今後の事故費用推計で着目すべき点を整理した。

第 5 章では、事故分析の視点から事故件数あるいは費用といった情報を活用することを考え分析のあり方に関する検討を行った。事故の発生には、事故に至る可能性の高い危険な場面が存在し、その場面には一定の道路走行をすれば遭遇すると考え、走行距離、危険な場面、事故の 3 つの関係を整理するためのモデルの作成を行った。また、今後このような考え方で事故分析を行うためには、危険な場面についても統計データ化してゆくことが必要である。そのためのデータの整理の仕方について検討を行った。

キーワード：交通事故件数、交通事故損失額、交通事故データ

Keywords : Number of accidents, Cost of accident, Accident data